

# 平成 30[2018]年度 活動報告

記録 大橋 敦夫

## 1) 研究会

第 100 回研究会 4 月 21 日 (土) 10:00~12:00 於あがたの森文化会館

・研究発表:「展望 長野県方言研究の歩み」

大橋 敦夫 (本会会員/上田女子短期大学教授)

・平成 30 (2018) 年度 総会

第 101 回研究会 8 月 25 日 (土) 10:00~12:00 於あがたの森文化会館

・研究発表:「長野県における大学生の伝統文化に関する意識調査」

詹 桂香 (上田女子短期大学外国人特別研究生/北京第二外国語大学  
日本語学院副教授)

「ごみの分別について—北京市での改善方策を探る—」

李 禎 (上田女子短期大学外国人特別研究生/北京市朝陽区外事弁公室)

第 102 回研究会 12 月 1 日 (土) 10:00~12:00 於あがたの森文化会館

・研究発表:「一茶の寒暖表現」

小池 博子 (八十二文化財団)

第 103 回研究会 2 月 9 日 (土) 10:00~12:00 於あがたの森文化会館

・研究発表:「長野県の木遣りについて—唄の種類とその分布に関する一考察—」

田中 大暉 (本会会員/信州大学大学院人文科学研究科修士課程 1 年)

「自然談話資料にみるマイナス待遇表現の男女差

—長野県北信方言若年層話者を対象に—」

永井 彩音 (信州大学人文学部 4 年)

## 2) 会誌の刊行

長野・言語文化研究会編 『ことばの研究』第 9 号 2018 年 4 月 5 日 Pp. 78

第 9 号目次

松本地方の御柱祭—木遣りとその詞章にみる地域性— —————太田 (細野) 真理

愛知県豊川市方言終助詞の記述的研究—————宇野翔子

大学における文章表現指導の実践

—評価を組み込んだ系統的指導— —————金子泰子